

## 授業科目

## 小児言語障害学II

担当教員名 山岸 達弥	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			○

## 授業の概要

言語発達障害の中で、学習障害、多動性障害、特異的言語発達障害などの特徴を学ぶ。  
代表的な検査であるWISC-IVを通して検査概要を理解する。また、その検査結果の解釈の仕方を習得し、指導プログラムへの流れを理解する。

## 授業の目的

言語発達障害の中で、学習障害、多動性障害、特異的言語発達障害などの特徴を理解し、評価、検査、指導プログラムの立案などを学ぶ。代表的な検査の実践を通して検査概要を理解する。また、検査結果の解釈の仕方を習得し、指導プログラムへの流れを理解する。

## 学習目標

- 1 言語発達障害に関する基礎知識を習得し、概説できる。
- 2 学習障害、多動性障害、特異的言語発達障害などの臨床像を把握し、説明できる。
- 3 各障害の評価・訓練を学び、その要点を説明できる。
- 4 言語聴覚士と発達障害児の生活面でのかかわりを学び、実態について説明できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	言語発達障害オリエンテーション 言語発達障害の概要と関連領域	講義	山岸 達弥
2	学習障害	講義	山岸 達弥
3	学習障害	講義 DVD	山岸 達弥
4	注意欠陥/多動性障害他	講義	山岸 達弥
5	注意欠陥/多動性障害他	講義 DVD	山岸 達弥
6	検査の種類と実際 (1) WISC-IVの使用方法和解釈 1	講義	山岸 達弥
7	検査の種類と実際 (2) WISC-IVの使用方法和解釈 2	講義 演習	山岸 達弥
8	検査の種類と実際 (3) WISC-IVの演習 1	演習	山岸 達弥
9	検査の種類と実際 (4) WISC-IVの演習 2	演習	山岸 達弥
10	検査の種類と実際 (5) WISC-IVの演習 3	演習	山岸 達弥
11	検査の種類と実際 (6) WISC-IVの演習 4	講義	山岸 達弥
12	特異的言語発達障害など	講義 VTR	山岸 達弥
13	検査結果の解釈と支援プログラム	講義	山岸 達弥
14	検査結果の解釈と支援プログラム	講義	山岸 達弥
15	まとめ	講義	山岸 達弥

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	言語聴覚士のための言語発達障害	石田宏代、大石敬子	医歯薬出版	2008年	4,400円+税	
参考書	日本版WISC-IVによる発達障害のアセスメント	上野一彦、松田修、小林玄他	日本文化科学社	2015年	2,900円+税	
その他の資料	プリント					

## 評価方法

レポート、発表内容および定期試験で評価する。

## 履修上の留意点

## オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：火曜日 12:00～13:00  
連絡先：yamagisi@nuhw.ac.jp